



公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 651-0085 神戸市中央区八幡通4-1-38 TEL 078-271-0255 FAX 078-271-0256 E-mail info@hamt.or.jp
編集委員 住ノ江 功夫 / 中村 光希 / 湊 宏美 / 渡邊 優子 / 矢野 美由紀 / 小松 敏也 / 森川 貴道 / 高田 稜雅
臨床検査情報センター URL <http://www.hamt.or.jp>

CONTENTS	令和5年度(2023年度)定時総会開催されました、兵臨技功労賞を受賞して	1
	令和5年度学術奨励症授賞、第43回丹但地区研究発表会を開催して、第43回丹但地区研究発表会に参加して	2
	タスク・シフト/シェア〜一歩先の業務へ〜、#研究班(オンライン実技講習会開催!)	3
	MTJ記事掲載(コロナワクチン後の抗体価推移を予測・アトピーの病態、皮脂RNA解析で把握)、 今後の予定、行事・求人案内	4
	会員グルメ情報	5

令和5年度(2023年度)定時総会開催されました

令和5年6月11日兵臨技研修センターにおいて定時総会が開催され、審議の結果すべての議案が承認されました。令和2年以降、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定時総会は少人数あるいはZoom配信によるハイブリッド形式での開催をしておりますが、3年ぶりに完全対面式での総会を開催することができました。

〈審議経過〉

総会議長に駒井隆夫会員(神戸赤十字病院)、書記に藤原萌子会員(兵庫医科大学病院)が選出され、総会の資格審査では当日出席18名、委任状出席者448名、議決行使者数1,129名、合計1,595名(出席率63.7%)で会員の過半数の出席を得て、定款第4章17条より総会が成立し、議案審議が開始されました。

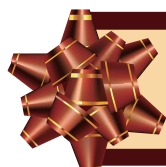
〈第1号議案：令和4年度決算報告・監査報告〉

竹川経理部長より貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記、財産目録について決算報告が行われました。また、笠舞監事より、事業および会計処理が適切に行われているとの監査報告がなされました。

〈第2号議案：名誉会員推薦者の承認について〉

定款第3章 第5条(3)に基づき、公益社団法人兵庫県臨床検査技師会前会長 中町祐司会員が名誉会員へ承認されました。

タスク・シフト/シェアに関する業務をはじめ、我々臨床検査技師は今後も様々な方面での活躍が期待されています。今後の活動を進めていくためには、会員および賛助会員の皆様をはじめ、兵庫県、医療職団体各位のお力添えがなければ成り立ちません。今後とも、技師会活動にご理解いただき、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



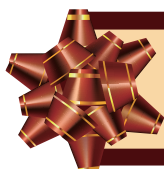
兵臨技功労賞を受賞して

駒井 隆夫 会員 (神戸赤十字病院)

この度は、功労賞に選出していただき、誠に有難うございます。1987年に兵庫県に入職してからは、兵臨技の研修会や学会活動で多くの方々とお出会う事ができました。今の自分があるのは、兵臨技で多くの事を学び、様々な経験をさせて頂いたおかげだと思っています。

また、兵臨技では総務部長として数年間活動してまいりましたが、私的な理由から退任することがあり、出入りの激しい総務部長として、当時の理事の皆様は大変ご迷惑をお掛けしたことを反省しております。そんな私でも功労賞に選んで頂ける兵臨技の器の大きさには、感謝しかありません。今後も、皆さんとの絆を大切にし、臨床検査技師として仕事に邁進していきたいと考えています。最後になりましたが、このような機会を与えて頂いた真田会長と理事の皆様にご礼申し上げます。本当にありがとうございました。





令和5年度学術奨励症授賞

小林 真 会員 (兵庫県臨床検査研究所)

学術奨励賞を授与していただき、大変光栄に思います。この賞は、私の技師会活動と昨年度兵庫県で行われました令和4年度日臨技近畿支部医学検査学会(第61回)での評価と励ましをいただいたものと感謝しております。私は、情報センター員として広報活動から技師会活動に携わり、その後病理細胞班の学術委員として活動に取り組んできました。2018年から2021年の間は学術班長として病理細胞部門の活動を中心に行ってきました。班長になって2年後の2020年は4月からCOVID-19の影響で活動が停止状態になりかけましたが、2022年には日臨技近畿支部医学検査学会を皆さんの協力で何とか成功を収めることができました。この受賞は、私一人の力ではなく、当社の病理検査室の方々や技師会活動をサポートして頂いた先生方のご支援のおかげです。ここに深く感謝申し上げます。今後も、この賞にふさわしい検査技師として、さらなる努力を重ねてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



組織 第43回丹但地区研究発表会を開催して

濱 靖 会員 (組織部理事)

令和5年度 第43回丹但地区研究発表会を令和5年6月25日(日曜日)に県立丹波医療センター「講堂」をお借りし開催しました。コロナ感染の分類が5類となり、当地区での最初の企画でした。当初、長期連休後となる為、Web併用のハイブリッド開催を企画しましたが、思いのほか急激な感染拡大には至らず安心しました。しかし、施設間でコロナ感染緩和への対策がまちまちであった為、ハイブリッド開催は正解であったと思っています。

今回は、会場参加、Web参加と登録時に振り分けたことで当日の参加人数の把握が簡単に行えました。

発表は8演題、生理検査3題、病理、検体、人工受精各1題、危機管理2題といずれも各分野で興味をそそる発表であった事に演者の皆さんに感謝いたします。



当地区の会員数は100名強であり、参加人数がコロナ前に近い参加者となったのはうれしい限りです。課題としてWeb参加者の入退出の把握、最終的に会場参加者と異差のない運営側の判断基準が必要と思われました。対面式の研修会等に移行している最中ではありますが、この開催形式も残留すると思われます。当実務委員の会話の中でもハイブリッド開催が地

域性に合っているのではとの意見もでていました。

また、市民講座等を企画する際はCATV等の協力、集客のある施設をターゲットに等々、企画の課題を考える場となったこともうれしく思います。

最後に紙面をお借りし、お世話になりました、県立丹波医療センタースタッフの皆様にご挨拶と共にお礼申し上げます。

第43回丹但地区研究発表会に参加して

清水 匠 会員 (兵庫県立丹波医療センター)

この度、第43回丹但地区研究発表会に参加させていただきました。医療安全の分野では、事例とともに具体的な対策や再発防止のための継続的な取り組みを知ることができ、参考となりました。その他にも、稀な症例や当施設で行っていない検査、人工受精の運用などの演題もあり、新しい知見を得ることができました。

丹但地区ではどの地域も地域医療を担っており、その役割は近いと感じています。しかしそのような中でも、当施設では行っていない取り組み、運用していない検査等を詳しく知ることができたことは、業務を見つめ直し、改良や工夫に意識を向けるきっかけとなりました。このような、近隣地域における医療、検査体制についての情報交換の場は非常に貴重ですので今後も参加させていただきたいです。

タスク・シフト/シェア～一歩先の業務へ～ タスク・シフト/シェア実現に向けての取り組み

古川 恵子 会員 (姫路赤十字病院)

当院の臨床検査技師に期待されているタスク・シフト/シェアには、持続自己血糖測定器の装脱着、輸血承諾書の取得・輸血関連検査の結果説明、血液製剤の分割、血液細胞(幹細胞等)処理業務、生検材料、特殊染色、免疫染色等の所見の下書き、病理診断報告書のチェックなど、既の実施できたものと頑張れば実施できそうなものや、輸血後副作用確認のための観察、負荷心電図検査等の際の患者バイタル確認、超音波検査の造影剤注入、静脈路の確保など、実施したくともすぐにできないものがあります。

タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の基礎研修700分と実技講習だけでは実践は到底無理です。そもそもバイタルサインのカルテ記載をどう書くのかもわからない。輸血副作用が起こったら?造影剤を注入して、アナフィラキシーショックを起こしたら?どう対応するのかわからないことだらけです。

この課題を解決しタスク・シフト/シェアを実現するために、看護部のドアを叩きました。「私たちのタスク・シフト/シェア実現のために力を貸してください。」「新人看護師の採血トレーニングは私たちにやらせてください。」この提案に対し、看護部から「Win-Winの関係を築き、協同でのスキルアップに取り組みしましょう」との回答を得ました。

まずは看護部企画のバイタルサインの研修会に私たちも一緒に参加させていただきました。看護師目線の研修会はとても新鮮なものでした。次は検査技術部企画の採血管の取扱いと留意点について新人看護師対象の研修会、そして新人看護師の中央採血室での実践トレーニングの開始です。まだまだ、これからですが、このことは、タスク・シフト/シェア実現に向けて検査技術部の大きな分岐点になると確信しています。



「フィジカルアセスメント バイタルサイン」研修風景
看護師さんたちに混じって研修会に参加(紺色の制服が検査技師)

研究班

オンライン実技講習会開催!

こんにちは。一般検査研究班の八木です。

今回の『#研究班』では、去年、一般検査研究班が行った試みについてお話させていただきます。

ほぼ毎月Web開催で研修会をしておりましたが、やはり皆様の顔を見ながら開催したい、ということでシスメックス株式会社と共催して現地とWebのハイブリッドで尿沈渣セミナーという名の研修会を3回開催させていただきました。試みといえますはその研修会で行ったものです。

顕微鏡を我々研究班員が操作し、その顕微鏡画像を現地に集まっていた方にはディスカッション顕微鏡で、オンライン参加の方にはリアルタイムで共有させていただきました。なにぶん初めてのことでしたので、はじめは顕微鏡を動かす速度が速すぎてオンライン参加の方にはお見苦しい画像であったり、細胞数の少ない標本では目的成分を探すのに手間取ったり、、、と四苦八苦しながらですが少しずつ改善を重ね、参加者の皆様と一緒に成長していく研修会が開催できたかなと思っております。これら3回の研修会は兵庫県でしかお知らせをしていなかったのですが、今年は近畿地区に枠を広げ、過去3回のいいところ取りをしたものや、寄生虫など、普段経験する機会の少ない症例や成分などにスポットを当て、さらにパワーアップしたものをお届けしたいと思っております。皆様のご参加をお待ちしております。

『#オンライン実習』『#尿沈渣』

八木 優太 会員 (一般検査研究班)



MTJ記事掲載

コロナワクチン後の抗体価推移を予測

慶応義塾大学医学部は4月25日、臨床検査医学教室などの研究チームが新型コロナウイルスワクチン2回接種後の抗体価の推移を推測する数理モデルを開発したと発表した。今後、3回目接種後のデータを用いてさらに検証をしていく考えで、数理モデルがさらに発展すれば、抗体価から「ワクチン追加接種の最適なタイミングを個別に予測できるようになる」としている。研究の中心となった一人の、臨床検査医学教室の上蓑義典専任講師は、想定される活用方法について、「ワクチンによる獲得

免疫を抗体価だけで評価することは難しいが、十分に免疫が残っていて、そこまで頻回にワクチンを打つ必要がないと思われる方の接種間隔を広げられる可能性がある」と話している。研究論文は「npj Vaccines誌」に3月7日付で掲載された。(一部抜粋)

株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

THE MEDICAL & TEST JOURNAL

(2023年5月21日掲載) [許諾番号20230621-1]

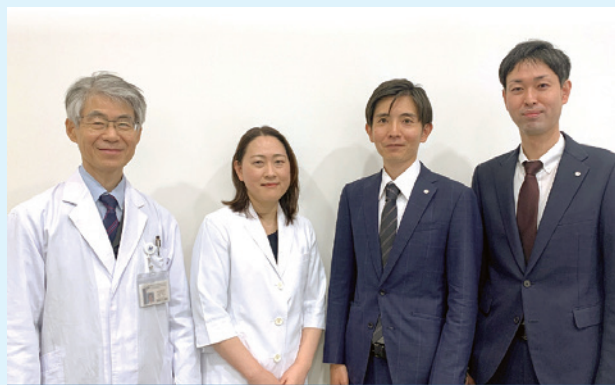
MTJ記事掲載

アトピーの病態、皮脂RNA解析で把握

国立育成医療研究センターと花王の研究グループは4月12日、乳児の顔を拭って採取した皮脂からヒト由来のRNAを解析したところ、生後1カ月時点でアトピー性皮膚炎(AD)に特徴的なRNAプロファイルを確認したと発表した。記者会見にて、育成医療研究センターの山本貴和子室長は、「乳児は侵襲(の検査)ができず、生後1カ月でADの病態を把握したのは初めて。1カ月健診の時期にはADが発症している」と述べ、皮脂RNA解析による早期診断の実用化に期待を示した。研究成果は、Journal of the European Academy of Dermatology and Venereologyのオンライン版(3月10日)に掲載された。(一部抜粋)



乳児の顔を拭って検体を採取する(提供写真)



記者発表した研究グループのメンバー(左から2人目が山本氏、提供写真)

株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

THE MEDICAL & TEST JOURNAL

(2023年5月1日掲載) [許諾番号20230621-2]

《今後の予定》

7月以降の神戸常盤大学タスク・シフト/シェア講習会(予定)

10月22日(日)、12月10日(日)

令和5年度(第43回)兵臨技精度管理調査のご案内

- 試料配布日 令和5年11月6日(月)(11月5日発送)
- 申込期間 令和5年8月1日(火)~8月31日(木)18時(申込サイト閉鎖)
- 申込方法 日本臨床衛生検査技師会ホームページ「臨床検査精度管理調査JAMTQC」から参加申込みを行います。

行事予定案内および求人情報は、ホームページに掲載しております。
右のQRコードから最新情報をご確認下さい。

行事予定表



求人情報





阿部 さやか 会員
(ツカザキ病院)

JR姫新線余部駅から徒歩3分

今回は「豆菜ごはん あーてい」を紹介します。あーていは野菜たっぷりのヘルシーランチのお店です。お店の中は本や手作りの雑貨が並べられ、とても落ち着く空間です。

「おばんざいランチ」はメインを選んで、そこに副菜4品とご飯、お味噌汁、香の物がつきます。季節のお野菜がたっぷり使われており、私は白ご飯を雑穀米に変更して、とことん健康的にするのがお気に入りです。お野菜いっぱいのヘルシーメニューですが、物足りないなんて思ったことはなく、毎回満腹の大満足です。また、定期的に副菜の献立が替わるのですが、同じメニューを繰り返したことがないようで、行く度に違うメニューが味わえて新鮮です。今回の副菜は「薫風豆苗温奴、トマトとひじきのミニサラダ、さつま芋の味噌炒め、「翠ペロン」とメニューにあり、初めて絹さやをペロンチーノの味付けで食べました。こんな風に毎回「今日はどんな料理が出てくるのかなあ」とウキウキ楽しみになります。

ランチの後は美味しいデザートもぜひ味わってください。チーズケーキや抹茶のケーキ、季節のフルーツケーキなどの日替わりケーキもどれも美味しく、いつもショーケースの前で悩んでしまいます。他にも、種類豊富な「古代もちー」もオススメです。黒米を手作りの餡で包んだおはぎで、レモンやいちじく味などの変わり種もあり、お土産にテイクアウトすることもできます。

癒しを求めて、お休みの日には行きたくなる、心も体も健康的になれる大好きなお店です。

《店舗情報》

店 名 / 豆菜ごはん あーてい

住 所 / 〒671-2216 兵庫県姫路市飾西585-2

T E L / 079-267-7776

営業時間 / 11:00~15:00 (LO14:30)

定 休 日 / 不定休



本日のおばんざいランチ(右上が翠ペロン)



店内の様子



デザートのチーズケーキ

Canon



i が描く新たな地平。

Aplio i-series
Prism Edition

【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i900 TUS-AI900 【認証番号】228ABBZX00020000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i800 TUS-AI800 【認証番号】228ABBZX00021000
 【一般的名称】汎用超音波画像診断装置 【販売名】超音波診断装置 Aplio i700 TUS-AI700 【認証番号】228ABBZX00022000


J000160-01

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



診断技術で、
安心な毎日を。

 **株式会社 タウンズ**

〒410-2325 静岡県伊豆の国市神島761番1
www.tauns.co.jp